

地震工学委員会・平成 23 年度第 8 回(通算 146 回)運営幹事会議事録

I. 日時：平成 24 年 3 月 30 日（月） 16:00～18:00

II. 場所：土木学会 C 会議室

III. 出席者

小長井委員長，清野副委員長，秋山幹事長

片岡，中島，濱野，目黒，吉見，山本（各運営幹事），尾崎（土木学会）

IV. 配付資料

幹 146-01 平成 23 年度 第 7 回（通算 145 回）運営幹事会議事録（案）

幹 146-02(1)(2) 予算執行状況

幹 146-04(1) 平成 24 年度第 1 回定例総会および第 1 回研究会案内

幹 146-04(2) 平成 24 年度 地震工学委員会顧問・新任委員推薦者

幹 146-05 地震工学論文集，地震工学研究発表会について

幹 146-06 委員会活動度評価要領の見直し

幹 146-07 原子力安全土木技術特定テーマ委員会の進捗状況について

幹 146-08 平成 24 年度土木学会全国大会 研究討論会企画書（4 件）

幹 146-09 平成 24 年度第 1 回研究会開催のお知らせ

幹 146-10 第 16 回世界地震工学会議（16th WCEE）会場・経費ご提案書

幹 146-11 運営幹事年間計画

V. 議事

1. 議事録（案）の確認

- ・ 山本幹事より資料「幹 146-01」に沿って前回議事録が説明された後，承認された。

2. 審議事項，報告事項

1) 予算執行状況について

- ・ 資料「幹 146-02(1)(2)」に沿って，山本幹事から提出された資料内容を確認した。地震工学委員会の予算残額が 73 万円あることを踏まえて，予算が使用し難い理由があるのかというコメントがあり，小委員会活動担当幹事より小委員会に対して利用内訳を確認することになった。
- ・ 地震工学研究発表会の支出に関して，J-STAGE の費用が含まれている旨が確認された。

2) 平成 24 年度第 1 回総会および第 1 回研究会について

- ・ 資料「幹 146-04(1)」に沿って秋山幹事長から説明があった。今回の運営幹事会で議論する日本地震工学会からの 16WCEE 日本招致提案について審議事項に追加することにする。
- ・ 担当資料については 4/18（水）までに秋山幹事長に送付する。

3) 平成 24 年度地震工学委員会顧問推薦者について

- ・ 資料「幹 146-04(2)」に基づき秋山幹事長より候補リストの報告があり、小長井委員長より顧問推薦者 8 名のうち 7 名については既に了承を得ている旨、説明があった。
- ・ 新任委員の推薦については、小委員会で活動しているが委員になっていない方、若手を対象に運営幹事会より 4 月初旬を目途に推薦することにする。

4) 地震工学論文集，地震工学研究発表会について

- ・ 資料「幹 146-05」に基づき、吉見幹事より論文集編集の進捗および地震工学研究発表会の企画案について報告があった。今回発刊する地震工学論文集の Volume number については、学会の論文集担当部署に確認した結果、"Vol.68 (2012) vol.31-b"とする。2012 年度の地震工学研究発表会については、東大（生産研あるいは震研）を候補場所とし、特別講演を企画する場合は 3 日間、企画しない場合は 2 日間開催とする。

5) 委員会活動度評価要領について

- ・ 資料「幹 146-06」に基づき秋山幹事長より、学会事務局への回答案について説明があり、尾崎氏より活動度評価要領の見直しについては未だ決まっていないとの状況報告があった。

6) 原子力安全土木技術特定テーマ委員会の進捗について

- ・ 資料「幹 146-07(1)(2)」を用いて、中島幹事より説明があった。提言目次案に関する質問があった他、小長井委員長より、重要な用語や考え方に関する他の特定テーマ委員会とのすり合わせ、提言案を発表する前に委員会外より意見集約を行う方が良いという意見があった。議論で出た質問、コメントについては当麻特定テーマ委員会委員長に伝える。

7) 平成 24 年度土木学会全国大会 研究討論会企画書について

- ・ 資料「幹 146-08」に基づき、4 つの小委員会からの企画案について内容を確認した後、議論を行った。地震工学委員会としては企画案の順位付けは行わないが、大会事務局より要請があった場合には津波避難小委員会からの企画案を推す意見が多かった旨を伝えることにする。

8) 平成 24 年度地震工学委員会 第 1 回研究会開催のお知らせについて

- ・ 資料「幹 146-09」を用いて濱野幹事より案内文案の説明が行われ、内容および手続き等について確認を行った。

9) 第 16 回世界地震工学会議（16th WCEE）の日本招致について

- ・ 資料「幹 146-10」および経緯について小長井委員長より説明があったのち議論を行った。運営幹事会としては WCEE 招致に賛成であるが、招致を実現するためには、東北地方太平洋沖地震を

受けての日本ならではのトピックの提案や、会議セッションの構成、事務局規模などについて練る必要があるという意見があった。本件については総会に諮ることとする。

10) 年間計画について

- ・資料「幹 146-11」を用いて中島幹事より説明を行った。

(作成者：中島)